

広報情報委員会では、神事協40周年記念事業の一環として記念誌発行に向け準備をすすめております。寄稿の依頼をさせていただいた際には、ご協力の程よろしくお願いいたします。また、記念誌の表紙デザインを会員の皆様から募集いたします。詳細につきましては、同封のチラシをご確認ください。皆様のご応募をお待ちしております！！

◆◆お知らせ◆◆

※新規会員入会金無料キャンペーン実施中！！

平成27年度に実施しておりました、新規会員入会金無料キャンペーンが好評につき28年度も続けて新入会員入会金無料キャンペーンを実施する事になりました。この機会に是非、お知り合いの建築士事務所の方に、ご入会を勧めてください！！（詳細は事務局まで）

◇近日、本会開催予定のイベント等◇

◆講習会

※7月21日開催済講習会の追加講習となっております。

「崖地・擁壁の安全性の判定方法と対策について」

～調査・判定・解決方法 実例を通しての解説～

「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」必修研修会

(7月21日の講習会とは内容が少し違ったものとなります。)

日 時:平成28年8月23日(火)

受付13:15～

講習13:30～16:50

会 場:神事協会議室

内 容:崖地・既存擁壁の調査方法

崖地・既存擁壁の安全判定方法

問題がある場合の補強方法や解決方法

トラブル実例とその解決方法

受講料:会員及び賛助会員 3,500円

会員外及び一般 5,000円

※詳細は、同封の開催案内をご確認ください。

◆まちあるき

「川崎のまちあるき」昼から夜の工場萌え

～東海道川崎宿・JFE工場・LiSE:

徒歩とバスでの施設・工場見学～

日 時:平成28年9月2日(金)

集合11:45 (京急川崎駅改札口付近)

開催12:00～19:00

参加費:5,000円/人(お茶代、バス代、保険代含む)

定 員:20名

※詳細は、同封の開催案内をご確認ください。

◆講習会

「マンション改修設計 見積・積算講習会」

～マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所

必修指定研修会～

日 時:平成28年9月20日(火)

受付13:20～

講習13:40～16:45

会 場:横浜市開港記念会館2F 6号室

内 容:見積・積算方法

平成28年熊本地震 被害状況報告

賛助会ホームページ紹介

委員会活動報告

受講料:登録事務所 3,500円

登録事務所以外の会員又は所員 4,000円

賛助会 4,000円

その他一般 5,000円

※詳細は、同封の開催案内をご確認ください。

◇開催日程をご確認ください◇

◆イベント

賛助会フェア

日程:平成28年10月14日(金)

会場:ワールドポーターズを予定

詳細は後日、お知らせいたします。

◆講習会

JAAF-MST2016 講習会

日程:平成29年1月17日(火)

詳細は後日、お知らせいたします。

広報情報委員会からのお知らせ

広報誌への原稿のお願い

「建築探訪」「会員仕事紹介」「旅行記」「表紙写真」

原稿を募集しております。どしどしご応募ください。

瓦版担当:広報情報委員会



「首都圏会議」への期待

県西支部長 長谷川 匡

監事 小林 幸一

猛暑の7月6日、第19回建築士事務所 首都圏連絡会議が、小田原の商工会議所会議室にて開催され東京会、埼玉会、千葉会、神奈川会からそれぞれの会長をはじめとする重鎮が一堂に会しました。会議の前段で、耐震改修を含むリニューアルを終え、5月1日にオープンしたての小田原城について、

小田原城天守閣の諏訪間館長よりこれまでの歴史を踏まえた小田原城の成り立ちから専門的な耐震改修に至るまでご講演をいただきました。

館長は「プラタモリ」をはじめ最近ではメディアに登場する機会が多い方です。

その後、実際に小田原城へ登城し歴史への思いを馳せました。

その後、会議に入り、報告事項として、①当連絡会議の連絡網の最新版の配布、

②平成28年熊本地震現地視察報告がなされました。

協議事項として、①当会議の規約案の検討、②業務継続計画が神事協より提示され検討されました。

天災特に地震は、発生する時期も、被害がどのような形で生じるかも事前に把握できません。

どのような状況になろうとも、できるだけ迅速に、希望と共に日常を取り戻せるようにすることが目的ではないでしょうか。

そのために、個人、家庭、事業所、所属団体それぞれが有効な備えをすることが大切で、事務所

協会としても、いろいろな場面を想定し、会員の支援になることを検討していかなければなりません。

そのためにも首都圏連絡会議の存在意義は重要であると思われます。

会議終了後の懇親会では旨いものと共に水分の補給をしたことは言うまでもありません。

帰りの小田原駅改札口付近で小田原市役所建築関係の重鎮とばったり出くわし小林会長はじめ御礼をすることができました。

心より御礼申し上げます。



「崖地・擁壁の安全性の判定方法と対策について」の講習会

指導委員会副委員長 水村 好男

先日、平成28年7月21日(木)に横浜市技能文化会館にて指導委員会主催による上記の講習会が開催されました。

神奈川県には土砂災害危険区域に指定されている箇所も多く、建築設計に携わる方にとっては多かれ少なかれ必ず遭遇する崖地や擁壁の安全性が問われる場所での建築設計。

建築士が習得しておかなければならない知識。

今回、そういった内容の講習会だったせいか、申込みを希望される方が大変多く、早々と定員一杯になってしまった状況でした。

尚、講習内容については、神奈川県建築指導課の木村琢朗氏より

神奈川県の災害危険区域の内の建築物、崖附近の建築物についての法令説明、棕副会長より主に、がけ附近での建築物を設計する際の留意点及び、過去の裁判事例、又、葛野指導委員会委員からは、擁壁についての説明がありました。

受講者の方々もこれらの説明に対し、熱心に聞き入り盛況の内に幕を閉じた講習会だったと言えます。

ちなみに、今回の講習会111名の申込者中、106名の出席でしたが、今回、参加申込みをされても、受講できなかった皆様のために、別の形で再度、追加講習を開催する事となりました。詳細は同封のチラシをご覧ください。

